

集落ぐるみの集団転作の定着化を

転作目標面積
726.8ヘクタール



最近の米の需給バランスを見ると、米の消費拡大にいろいろと努力されているにもかかわらず、余剰米はますます増える一方です。五十六年度から五十八年度まで実施する水田利用再編第二期対策は、一層きびしさを増してきました。第二期対策期間中に、白根市に配分された転作面積は七二六・八ヘクタールで、当市の水田面積の約一六・四%にあたります。第二期対策は、生産者にとって険しいばかりの道ですが、食育制度の健全な運営と農業生産の再編成のためには、避けて通れない重要な課題です。

配分面積を
三年間固定

三年前から米の需給バランスを保つため、政府は水田利用再編対策を行ってきました。しかし、米の消費が年々減少している反面、一反当たりの収穫高は伸び、余剰米はますます増えています。この余剰米の増加を防ぐため、第二期対策では転作面積を大幅に増やさなければならなくなりました。

市では、二月五日から九日まで各地区で転作説明会を開き、市の実施方針などを説明。その際、農家へそれぞれ転作面積の配分を公示してきました。この後、集団転作を行う集落などとの調整を行い、配分を正式に決定することになっています。各農家へ配分した面積は、原則として第二期対策期間中の三年間固定します。

集団転作を奨励した結果、三十集団、三〇六件が圃地化されました。転作状況を見ると、野菜がいちばん多く、麦も大きな伸びを示しています。

集団化は獎勵金が
上積みされます

きびしい生産調整を克服するには、バラ転作から集団化の転作へ切り替えが必要です。集落ぐみで十分に話し合い、ぜひ「集団化」をしてください。集団で行うことは排水対策が容易になります。転作物の安定生産にも役立ちます。さらに計画加算や圃地化加算の対象となり、獎励金が上積みされます。

市では、転作がスムーズに行われました。

県共奨会で入賞
麦・大豆作りで

五十五年度県麦作・大豆作共

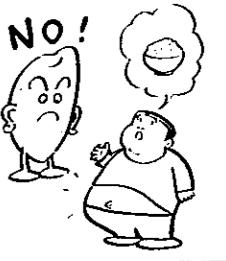
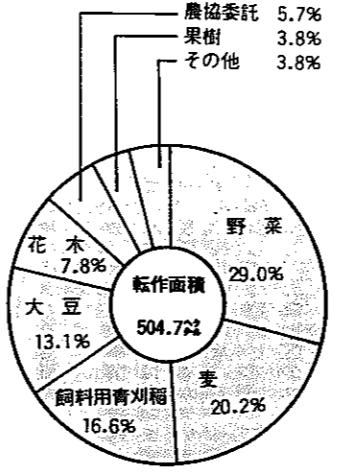
助会で、市内から次の三人のかたが入賞しました。
アール当たりの収量などを総合して審査するのです。三人とも転作の関係で、麦や大豆作りをはじめたものです。

【麦作共奨会】優秀賞＝本間正克千五間 関根文雄(北田中)
【大豆作共奨会】努力賞＝本永彦吉(山崎興野)

米は太る——は『漏れ衣』

米を食べると太る——と一部でいわれていますが、太る原因是運動不足とカロリーのとりすぎにあります。たとえば、茶わん1杯のご飯と、食パン1枚はほぼ同じカロリーなのです。いまアメリカでは、米を肥満

55年度生産調整による 転作状況



56年度予算案まとまる 一般会計 61億4千百万円

市の昭和五十六年度の一般会計予算案がまとまりました。

五十五年度当初と比べ、九千七百万円（一・五%）減の六十一億四千百万円となっています。予算案は、今月十三日から開かれる市議会で審議されます。詳しい内容は四月一日号でお知らせします。

【健康で明るいまちを】
場を整備
【福祉施設の充実を】
【教育・文化・スポーツ施設の整備を】
▽学校建設三校で約六億九千万円
①茨曽根小の移転改築工事の継続
②大鷲小の新築工事の継続
③小林・戸頭の小の統合用地買収と建設を二年計画で
▽根岸小にプレハブ教室を建築、白井中の教室の床舗替え▽根岸地区に約一億円で地域生活センターの用地買収と建設▽総合体育施設の基本設計の作成とテニスコート(三面)の整備。小林地区に運動広

臨時市議会

臨時市議会が二月十日開かれ議席の指定及び変更、補選による新議員の紹介、常任委員の選任、吉沢市長就任のあいさつが行われました。

市議補選選出議員の所属常任委員会は

市議補選で選ばれた、小野忍、小林仁市議員の所属常任委員会と所属会派をお知らせします。

小野議員は社会建設常任委員、小林議員は産業企業常任委員です。

所属会派は、両議員とも白政会です。

所属会派の人数は、白政会十六人、市政クラブ五人、五月会四人、無所属一人となってい

ます。
期間中にご覧ください
固定資産課税台帳

3月は交通事故多発 くれぐれもご注意を！

くるま社会の中での弱者は歩行者——特に子どもと老人です。ドライバーは交通ルールを守り、思いやりのある運転に心がけてください。例年、3月は交通事故が多く発生します。くれぐれもご注意を。

の資産を確かめてください。
縦覧期間中は無料ですが、それ以外は一件につき百円の手数料がとられます。

□縦覧期間 三月二日から三月三十一日まで、三月午前八時三十分から午後五時まで(土曜日は正午まで、日曜・祝日は除く)
□どこへ 市役所二階税務課
香典返し

▽社会福祉協議会へ
さん(新飯田下町): 五万円

三月三十一日以降は使えませんので、新しい保険証が届いたら、市民生活課国保係(221-1522)までご連絡ください。

いままでの保険者証は、三月三十一日以降は使えませんので、新しい保険者証が届いたら、市民生活課か地域生活センターへお返しください。

いままでの保険者証は、三月三十一日以降は使えませんので、新しい保険者証が届いたら、市民生活課か地域生活センターへお返しください。

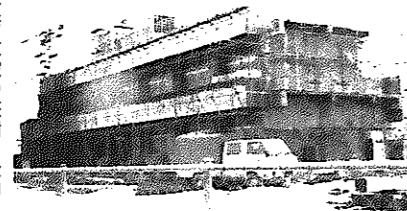
いままでの保険者証は、三月三十一日以降は使えませんので、新しい保険者証が届いたら、市民生活課か地域生活センターへお返しください。

いままでの保険者証は、三月三十一日以降は使えませんので、新しい保険者証が届いたら、市民生活課か地域生活センターへお返しください。

いままでの保険者証は、三月三十一日以降は使えませんので、新しい保険者証が届いたら、市民生活課か地域生活センターへお返しください。

いままでの保険者証は、三月三十一日以降は使えませんので、新しい保険者証が届いたら、市民生活課か地域生活センターへお返しください。

教育施設の整備に全力(茨曽根小の移転改築工事)



市内で国鉄乗車券が買えます 産業厚生会館に販売所を設置

4月1日から、日本鉄道旅行社の白根営業所が、産業厚生会館1階に開設されます。開設により、市内で国鉄の乗車券などが買えるようになります。

そのため、これまでの切符買い求めで近隣駅まで行く不便さが解消されます。

□営業時間 平日は午前9時から午後5時、土曜日は正午まで(日曜、祝日、年末年始は休みます)

□営業内容 国鉄乗車券、指定席券販売の取り扱い ホテル、旅館、国内航空券船券の予約・販売 団体・グループ旅行の相談など

多数ご参加ください

北陸路へ開設記念特別列車を

白根営業所の開設を記念し、「北陸路・夢の旅」特別列車が走ります。楽しいいっぱいの旅に、多数ご参加ください。

□期間 4月4~5日(1泊2日)

□行先 北陸方面(兼六園、那谷寺、東尋坊などを見学、宿泊は山代温泉)

□費用 1人約29,000円

□募集人員 450人

□その他 列車内やホテルではいろいろなアトラクションを計画しています

□申し込み・問い合わせ先 お早目に産業厚生会館(2153)へ。

市営住宅の入居者を募集します

□募集住宅

閉店名	戸数	構造	床面積	月額家賃
幸町	1	木造平屋	33.0m ²	1,200円
戸頭	1	木造平屋	29.7m ²	1,500円
新鶴潟	1	木造平屋	32.4m ²	2,500円

電気・ガス・水道料金は入居者負担です

□入居資格 ①住宅に困り、いっしょに入居する親族(内縁関係、婚約者を含む)があること。次に該当する人は一人でも申し込めます(ただし、常時の介護を必要とする人は除く) ④男子は60歳、女子は50歳以上の人 ⑩1級から4級までの身体障害者 ⑪戦傷病者で特別項症から第6項症まで、また第1款病に該当する人 ⑫原爆被爆者で厚生大臣の認定を受けている人 ⑬海外引き揚げ者で、引き揚げから5年を経していない人

⑭月収が所定の算出方法により55,000円以下の人

□申し込み・問い合わせ先 3月5日から20日までに福祉事務所庶務係(2153-1111)へ。